

令和3年度地域運動部活動推進事業における成果報告書

自治体名：さいたま市

担当者：さいたま市教育委員会 指導1課 笛田 透

①どうしたら、関係団体と円滑に地域移行を推進できる体制を構築できるか。

<実績>

- ・埼玉県野球協会の協力を得て、市立中学校5校の野球部において本事業を実施した。
- ・本事業の実施にあたり、教育委員会担当者と埼玉県野球協会担当者（常務理事）との打合せを綿密に行い、事業の目的や内容等を共有した上で事業の方向性について協議し、実施計画や要綱の作成等を行った。

【打合せ】計6回（6月：1回 7月：2回 8月：1回 11月：1回 1月：1回）

- ・教育委員会担当者が定期的に実施校5校への視察を行い、埼玉県野球協会が派遣する地域部活動指導者に対して指導助言を行うとともに、活動内容の共有を図った。

【視察】計7回（9月：1回 10月：2回 11月：1回 12月：1回 1月：2回）

- ・埼玉県野球協会担当者（常務理事）による中間報告会を実施し、活動内容や成果、課題等について共有し、今後の方向性について協議した。

【実施日時】令和4年1月25日（火）17時00分～19時30分

【参加者】日本野球連盟理事 埼玉県野球協会担当者（常務理事）

教育委員会：教育長、副教育長、地域部活動担当者（2名）

市長部局：スポーツ振興課長、スポーツ政策室担当者

<体制の構築に向けて>

- 教育委員会と関係団体との打合せを綿密に行い、理念や方向性等を十分に共有する。また、教育委員会が関係団体や指導者の状況等を十分に把握し、適宜、学校や関係団体との連絡・調整を図る。
- 教育委員会、関係団体、学校関係者（校長等）、有識者等で委員会を組織し、協議を重ねる。
- 教育委員会が積極的な情報発信と丁寧な説明を繰り返し、部活動の地域移行について校長及び教員、生徒、保護者、地域住民等の理解を図っていく。

②どのような支援が拠点校の取組や関係団体の協働を効果的に促進することができるか。

<実績>

- ・教育委員会と埼玉県野球協会が連携し、本事業実施校の野球部顧問教員及び地域部活動指導者を対象とした研修会を計6回実施した。

《第1回》【実施日時】令和3年7月21日（水）16時00～18時00分

【対象】顧問教員、地域部活動指導者

【内容】本事業の概要説明、顧問教員と地域部活動指導者との連携 等

《第2回》【実施日時】令和3年7月31日（土）16時00～18時00分

【対象】地域部活動指導者

【内容】生徒指導対応、緊急時の対応、AED講習 等

《第3回》【実施日時】令和3年10月6日（水）18時00～20時00分

【対象】地域部活動指導者

【内容】コーチング研修①

《第4回》【実施日時】令和3年10月22日（金）18時00～20時00分

【対象】地域部活動指導者

【内容】コーチング研修②

《第5回》【実施日時】令和4年1月6日（木）17時00～19時00分

【対象】地域部活動指導者

【内容】中間報告会 課題整理 等

《第6回》【実施日時】令和4年1月21日（金）17時00から19時00分

【対象】顧問教員

【内容】コーチング研修③

<促進に向けて>

- 教育委員会が積極的に関わり、実施校の部活動顧問と地域部活動指導者の円滑な連携をサポートする。
- 教育委員会と関係団体が連携協力し、地域部活動指導者を対象とする研修を実施し、指導力の向上を図るとともに、生徒指導や安全管理等について理解を深める。

### ③どのようにして、それぞれの課題を克服していくのか。

<地域移行を推進する上での課題>

- ア. 指導者の人材の確保
- イ. 指導料等、財源の確保
- ウ. 部活動を担いたい教員のための兼職兼業制度の整備
- エ. 教員、生徒、保護者、地域住民の理解

<課題解決に向けて>

- ア. 関係団体との連携を強化するとともに、新たな関係団体を開拓する。また、関係団体を統括する組織を立ち上げ、指導者の配置等のマネジメントを行う。
- イ. 受益者負担の可能性について、段階的にモデル校での検証を行うとともに、適正な負担額、低所得世帯に対する支援策等について検討していく。また、地域住民や地元企業からの補助金の可能性について探っていく。
- ウ. 兼職兼業について、今後示される国の方針に基づき、関係部署との連携を図りながら議論を重ね、制度設計を行っていく。
- エ. 教育委員会及び校長が部活動の地域移行について、教員、生徒、保護者、地域住民に対し、積極的かつ丁寧の説明していく。

### ④どうすれば改革の取組を円滑に他地域に普及していけるか。

<普及に向けて>

- 各自治体の教育委員会担当者が、それぞれの実践を共有できる情報交換会や協議会等を実施する。
- 各自治体及び関係団体等の実践事例について、共有できるシステムを構築する。

### ⑤実践研究における活動実績や得られたデータについて

<令和3年11月>

- ・実施校の生徒、教員に対して中間アンケートを実施した。
- ・「新しい時代にふさわしい部活動の在り方に関するアンケート」を全市立中学校の生徒、保護者、教員を対象に実施した。

<令和4年3月>

- ・実施校の顧問教員、生徒、保護者を対象にアンケートを実施予定
- ・関係団体担当者（埼玉県野球協会常務理事）による成果報告会を実施予定